



## あしたの風



発行：男女共同参画あきたF・F推進員・犬潟村

TEL 0185(45)2114  
2010.10 発行

### これは愛？

F・F 推進員 石原敏子

この夏、成人式の会場で新たな試みを行いました。

対話劇を通して若者たちに男女の交際について考えて欲しいと考えたのです。

最近、デートDVという言葉が聞かれるようになりました。これは交際している彼氏や彼女からふるわれる暴力のことです。殴られるといった身体的なことだけでなく、ののしられたり、馬鹿にされるといった言葉の暴力や、ケータイを勝手に見たり、他の異性と話したりするのを制限したり、望んでいないのに無理矢理、性的な関係を迫る行為もデートDVです。国が10代から20代の男女にアンケートをとったところ、女性が8人に1人、男性で20人に1人が交際相手から被害にあったと答えていました。

青春を謳歌して、友情も恋愛も楽しんでいる世代であろうはずが、この現実には驚き痛ましさを感じました。若い貴重な時をこんな事ですり減らしてほしくありません。

最近、この問題が重要視され、高校生にデートDVについて学習する授業が行われるようになりましたが、全校には行きわたっていません。「これは愛？」という題をつけました。大学生の男女はお互い好きになり、恋人同士になります。そのうち男性は女性を束縛し暴力をふるうようになりました。それが愛情だと勘違いしてしまったのです。友だちに相談した彼女はデートDVだと気がついて二人は別れます。

協力してくれたのは、芸文協のミュージカルに参加した人たちで創った「演劇を楽しむ会」のメンバーです。劇の最後に役を離れて、「本当の愛」ってどんなものかを4人の出演者に尋ねました。

- ・「相手のその人らしさを認めて尊重する」
- ・「自分の考えを押しつけないでお互い歩み寄る」
- ・「相手を励まし支えることをお互いに考える」
- ・「つまり対等で尊重しあう恋愛が理想」 と答えてくれました。

結びとして、もし劇のようなことがあなたの身に起こったら話せる誰かを見つけておくこと。人に話すと自分が見えてくるもので、自分の状態に気づくことができれば問題は八割解決したのも同然、と訴えました。

そして全員が両手をひろげ、会場にむかって「みなさん、すてきな恋愛をしましょう」と高らかに呼びかけました。

私たちのこの想いが、どうか成人式を迎えた若者たちに届いてくれますように。



# 男女共同参画推進委員会を開催



7月21日に今年度第一回目となる「大潟村男女共同参画推進委員会」を開催しました。村内団体からの推薦と公募によって選出された20名の委員と役場の各課から選出された6名のチーム検討員で構成されるメンバーが、男女共同参画に関する村の取り組みについて意見を交わしました。

今年度は委員改選の年で、西3-4 三村敏子さんが新しい委員長に任命されました。

## 【推進委員会のメンバーです】

所属	氏名
教育委員	松雪 照美
JA大潟村	細川 忠通
大潟村社会福祉協議会	森田 勝利
大潟村青年会	武田 泰斗
大潟村若妻会	鎌田 真紀子
大潟村婦人会	浮田 順子
大潟村壮悠会	三好 まつ子
PTA連絡協議会	岩井 真二
大潟村体育協会	近藤 守夫
大潟中学校	田村 重光
大潟幼稚園	佐藤 捷雄
人権擁護委員	田村 陽子
ポルダー大潟野菜グループ	宮田 洋子
芸術文化協会	石原 敏子
子育てサポーター	一関 暁子
公募	三村 敏子
あきたF・F推進員	石原 敏子
あきたF・F推進員	柏 雄子
あきたF・F推進員	近藤 正
あきたF・F推進員	崎浜 栄子
(チーム検討員)	
農業委員会	渡部 久樹
教育委員会	吉田 ふき子
住民生活課	田中 司
住民生活課	伊東 寛
住民生活課	菅原 聡

## 【三村委員長からコメントをいただきました】

### 大潟村の男女共同参画はどこまで進んだの？

三村 敏子

今回私は男女共同参画推進のために、やってみたいことがたくさんあり、委員長に手をあげ、やらせて頂くことになりました。もうすでに半年が過ぎましたので、残り一年半ですが、一生懸命頑張りたいと思います。どうぞみなさんの積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

さて、みなさん、無意識のうちに男だから女だからと目に見えない社会に動かされていませんか？男は泣いてはいけないと育てられませんでしたか？女は男の人達がいると男の人達に任せて、一歩後ろに退いていませんか？

男女共同参画が非常に進んでいるノルウェーでは、2007年に閣僚の53%が女性になりました。どれだけの人達の努力と活動によってここまで来たのでしょうか。あるノルウェー女性は「憤怒する！いつも私は」という本を出版されたそうですが、怒りが行動になり、社会を変えることにつながったのです。日本は女性の経済・政治への参画数値は109カ国中57位。女性一般労働者の給与水準は男性が100のとき69.8です。

村の10年を振り返ると政策決定の場への女性の割合が、増えていないのです。議員は一人から一人。農協理事は0人のまま。農業委員は一人から二人になりましたが、また一人に。

私が男女共同参画が進んだと感じているのは、男性の育児。例えば母親学級から両親学級になり、子育てを勉強しています。保育園の送迎に男性の姿が多く見られるようになりました。女性は野菜販売や加工販売で実績を上げることが増えました。

大潟村総合村づくり計画の策定にあたり、住民グループ・団体ヒアリングが行われ、その中で、これまでの政策に対する満足度に、満足度の高い分野として「福祉分野」があげられていました。女性の意見が反映されたのではないかと思います。

もっとみんなで声をあげましょう！

# 出前講座で中学生が男女共同参画を楽しく学び考えました

7月13日、中学2年生を対象に出前講座が行われ、大変有意義な経験を参加者全員で共有しました。「男女共同参画」の中学での出前授業は画期的で、秋田県内では湯沢市と大湯村だけの実施です。大湯中学校のご理解と推進委員の真摯な努力と工夫の賜といえる活動です。



男女の違いには生物学上の性差の他に、過去の社会的な慣習や経済的条件などから作られた、“当たり前”という“固定観念”に縛られているジェンダー（gender）があり、それが相手を抑圧する場合も少なからずあることを、中学生の日常生活の場面をもとにした対話劇を題材に、わかりやすく紹介されました。グループ学習も取り入れた、参加・考察型の授業展開で、楽しく、時間が経つのもあっという間でした。

一つの場面では、家庭での介護「お母さんが介護をするのは当たり前？」を話題に、家庭内の「しごと」の分担について話し合いました。今回は特別出演、ALTのデレック先生にカナダと日本の比較（表1参照）をわかりやすく説明していただき、問題をより身近に意識することができました。みんなが生き活きと“自分らしく生きる”には、差別に気づくこと、そして自立に基づくパートナーシップや責任ある行動に一步踏み出すことが大切と学びました。

さて、出前授業に先立つ中学2年生への恒例アンケートで、興味深い結果が出ていました。

質問6「男らしくない、女でしょうなどと家の人に言われたことがありますか。」に、

はい:男子17%女子71%、いいえ:男子83%女子29%。



質問7「男は仕事、女は家庭、という考え方に」、

賛成+やや賛成:男子63%、女子59%、反対+やや反対:男子37%女子41%。

質問8「家事・育児・介護は女性に向いている役割だと思いますか。」に、

思う:男子28%女子61%、思わない:男子72%女子39%。

質問9「男の人が、掃除、洗濯や料理をつくったりすることは変だと思う。」に、

はい:男子女子とも0%、いいえ:男子女子とも100%でした。

この数字だけでは全てを読み取れませんが、自由意見と併せて見てみると、男性は家事育児を行うことに違和感はないが、女性自身が“当たり前”意識を残していること。これも男性の参画が弱いことの背景の一つではないかと伺えました。一方で共同参画の考え方をしっかり理解している意見も多くあり、思った以上に男女共同参画意識が浸透していると感じました。

誰もが個性も得手不得手もあるはずですから、お互いに認め合い、合意の上での分業であれば、当然そこには感謝の気持ちが共存するでしょう。大切なのは、一方的に押しつけていないかどうか（その根拠の一つに“当たり前”がないか）、お互い楽しく“参画”しているかどうかです。

職場や家庭に「なぜ、私だけが」はありませんか。

(F・F推進員 近藤 正)

表1 カナダと日本の家事の比較

Tasks (仕事、課題)	日本		カナダ	
	男	女	男	女
料理		○	○	○
食器洗い		○	○	○
庭仕事		○	○	○
掃除		○	○	○
買い物		○	○	○
ベッドメイク		○	○	○
除雪	○		○	○
風呂洗い		○	○	○
トイレ掃除		○	○	○
部屋片付け		○	○	○
ゴミ出し	○		○	○
子供の世話		○	○	○
育児休暇		○	○	○
大工仕事	○		○	○
洗濯		○	○	○

# ♪ 講演会のお知らせ ♪

## 「仕事も家庭もあきらめない！ワーク・ライフ・バランス」

自閉症の子どもと、うつ病の妻をまもりながら、東レ取締役にになった佐々木常夫氏がワーク・ライフ・バランスをテーマに講演を行います。

日時 10月22日（金）午後2時半から午後4時半  
会場 秋田市文化会館小ホール  
講師 佐々木常夫氏（東レ経営研究所特別顧問）  
入場 無料  
託児 有り（事前申込み必要）



ぜひご参加ください。  
お問い合わせは大潟村役場住民生活課（45-2114）まで！

## 大潟村男女共同参画推進チーム（仮称）会員募集！

男女共同参画をさらに推進するため、大潟村男女共同参画推進委員会にて、自主的に活動する推進チームを立ち上げることにいたしました。

会員それぞれが、出来る範囲で活動していただく予定です。

どなたでも参加可能ですので、興味のある方はお問い合わせください。

【申込 & 問合せ】

三村敏子（Tel 22-4177）役場住民生活課（Tel 45-2114）

## 一人で悩まず相談してください。

【悩みを聞いてもらえる相談先】

- ・ハーモニー相談室（中央男女共同参画センター）

Tel 018-836-7846（相談時間 月～土 10時～17時）

- ・女性ダイヤル相談（女性相談所）

Tel 018-835-9052

（相談時間 月～金 8時半～21時 土日祝 9時～18時）

### ～編集後記～

収穫作業おつかれさまでした。

今回の通信では平成22年度の前半に実施した事業を紹介させていただきました。

この通信が「男女共同参画社会」について考えるきっかけになると嬉しいです。

（役場住民生活課 菅野）

☆各記事についてのお問い合わせはこちらへ☆

大潟村役場住民生活課 TEL 0185-45-2114 FAX 0185-45-2162